

京慢協発 3-013
私病協発 3-442
令和 3 年 10 月 5 日

会 員 各 位
看 護 部 長 様

京 都 府 慢 性 期 医 療 協 会
会 長 清 水 紘
一 般 社 団 法 人 京 都 私 立 病 院 協 会
会 長 清 水 鴻 一 郎

京 都 府 慢 性 期 医 療 協 会 ・ 京 都 私 立 病 院 協 会 共 催

第 6 回 病 院 看 護 師 の た め の 認 知 症 ケ ア 講 座 (オ ン ラ イ ン) 開 催 の ご 案 内

厚生労働省は、認知症高齢者の数が 2025 年には 700 万人を超えるとの推計を発表しており、65 歳以上高齢者のうち、5 人に 1 人が認知症に罹患すると言われています。

認知症対策は喫緊の課題であり、特に病院においては身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められています。こうした背景から、平成 28 年度診療報酬改定で新設された「認知症ケア加算」は、令和 2 年度診療報酬改定で認知症ケア加算の評価体系が 2 段階から 3 段階へと見直され、病院における認知症ケアの向上への取組が評価されているところです。その中でも、特に看護師は認知症ケアの要であり、本年度で第 6 回目として、看護師を対象に認知症患者のアセスメントや看護方法等を内容とした標記研修会を下記の要領で開催することとなりました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、オンライン (Zoom) で開催します。

つきましては、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。なお、本研修を修了された看護師は、診療報酬上の「認知症ケア加算 2・3」の施設基準に該当する看護師となります。

— 記 —

日 程	◆オンライン受講説明会	令和 3 年 12 月 2 日 (木) 14:00~14:30
	◆講座 1 日目	令和 3 年 12 月 8 日 (水) 12:40~17:20
	◆講座 2 日目	令和 3 年 12 月 9 日 (木) 13:00~19:10

※ 3 日間ともに受講必須

受講形式 Zoom ミーティングによるオンライン講座

対 象 京都府慢性期医療協会及び京都私立病院協会会員病院に従事する看護師

* 准看護師は対象になりません。

* 会員病院の関連の介護・福祉施設・事業所にご所属の看護師は対象になりません。

定 員 30 名

参加費 無料

研修プログラム 別紙 2 の通り

申 込 京都私立病院協会ホームページの「研修会・イベント申込」より 11 月 11 日 (木) までにお申し込み下さい。後日、連絡担当者宛に受講決定通知及び参加証を送付します。なお、**定員に達し次第、締め切らせて頂きます。**

* 上記 3 日間ともに受講が必要です。「オンライン受講説明会」は修了の要件ではございませんが、オンライン受講にあたり必要な説明を行いますので必ずご参加ください。

* 本研修を修了された看護師には修了証書を発行いたします。また、診療報酬上の「認知症ケア加算 2・3」の施設基準に該当する看護師となります。

* 遅刻・早退・中抜けの場合、いかなる理由があっても修了証書は発行いたしかねます。

* オンライン受講に関する注意事項 (別紙 1) をご確認の上お申し込み下さい。

別紙 1

オンラインでの受講にかかるお願い

本講座は全てのプログラムをオンラインで実施致します。受講にあたりまして以下の注意事項をご確認頂き、必要な受講環境をご用意頂ける場合にのみお申込み頂きますようお願いいたします。また講義中は常時、運営事務局による受講確認が必要なことから、定員を30名としております。なるべく多くの施設の方にご受講いただくため、**1施設1名様までのお申込でお願い致します。**

【受講環境について】

① 安定したインターネット環境で受講できること

- *長時間のオンライン受講となります。講義中にご自身のネットワーク接続不良やパソコンの性能等により Zoom への接続が中断されました場合は、修了証を発行致しかねます。
- *有線 LAN でのインターネット接続を推奨します。

② カメラ・マイクを使用し、受講者の映像と音声が発信できること

- *本研修は診療報酬上の施設基準の該当研修であり、定められた講義時間を受講する必要があります。受講確認のため講義中、受講者は常時カメラを ON にして頂きます(休憩時間は除く)。
- *講義中に演習(受講者同士でのディスカッションや発表)を行います。その際にマイクを ON にして発言して頂きます。

③ オンライン受講説明会に出席できること

- *事前に Zoom ミーティングへの接続テストも兼ねたオンライン受講説明会を実施します。必ず講義当日に使用する機材と環境でご参加ください。
- *オンライン受講説明会は、令和3年12月2日(木)14時より実施します。

【必要機材について】

◆パソコン

- *タブレット・スマートフォンは使用せず、パソコンをご使用ください。なお、パソコンには事前に「Zoom」ソフトをインストールしていただきます。
- *必ず1名につき1台のパソコンから受講して下さい。

◆カメラ・マイク

- *あらかじめパソコンに搭載されている場合は、それと別に用意して頂く必要はございません。

◆ヘッドホン・イヤホン(必要な場合)

- *あらかじめパソコンに搭載されているスピーカーで音声をお聞き頂いてもかまいません。ただし、複数の受講者が同じ部屋で受講する場合は、音が反響し演習に支障をきたします。必ずヘッドホンまたはイヤホンをご使用ください。

別紙 2

第 6 回 病院看護師のための認知症ケア講座（オンライン）プログラム

【オンライン受講説明会 令和 3 年 1 2 月 2 日（木） 開始 1 4 : 0 0 終了 1 4 : 3 0】

時 刻	所要時間	内 容
14:00～14:30	30 分	説明会・自己紹介

【講座 1 日目 令和 3 年 1 2 月 8 日（水） 開始 1 2 : 4 0 終了 1 7 : 2 0】 （講師敬称略）

時 刻	所要時間	内 容
12:40～12:45	5 分	開講挨拶
12:45～13:00	15 分	<p>「京都府地域包括ケア構想の概要（仮題）」 解説 京都府健康福祉部 医療課 京都府における将来の医療需要や、医療機能の分化・連携の推進等、目指すべき医療提供体制を実現するための施策や医療機関が取り組むべき課題を知ろう。</p>
13:00～14:30	90 分 講義	<p>「認知症の原因疾患と病態・治療」 講師 澤田親男（認知症サポート医・北山病院） 看護師も医師とともに、認知症の症状を引き起こす原因疾患に向き合うことが認知症ケアの基本となる。認知症の予防や治療により進行を遅らせることも含め、認知症疾患そのものを知ろう。</p>
14:30～14:40	10 分	休 憩
14:40～17:10	150 分 講義 及び 演習 * 演習前 休憩 10 分含む	<p>「入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術」 講師 井上桂子（認知症看護認定看護師・京都岡本記念病院） 認知症の人に適切な看護を提供するためには、そのファーストステップとして、アセスメントをもとにケアプランを立てることが必要であろう。そのために知っておかなければならないこと、見落としはならないことは何かを考えよう。 （演習） 認知症の人に対するアセスメントの情報として求められているものは何か、また、必要な援助技術は何かを考える。</p>
17:10～17:20	10 分	事務連絡

【講座2日目 令和3年12月9日(木) 開始13:00 終了19:10】 (講師敬称略)

時刻	所要時間	内容
13:00~15:10	130分 講義 及び 演習 *演習前 休憩 10分含む	<p>「コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法」 講師 山田亜由美 (認知症看護認定看護師・京都民医連中央病院) どのように認知症の人とコミュニケーションをとればよいのか。その人が暮らしてきた生活環境を大切に、施設内での環境、あるいは地域での環境を整え、より穏やかに過ごしてもらうことを考えよう。 (演習) 重度認知症の困難症例を提示し、コミュニケーションの取り方、医療チームでの対応の仕方等を、ディスカッションを通して考える。</p>
15:10~15:20	10分	休憩
15:20~17:30	130分 講義 及び 演習 *演習前 休憩 10分含む	<p>「行動・心理症状 (BPSD)、せん妄の予防と対応法」 講師 辰巳弥生 (認知症看護認定看護師・洛和会音羽病院) 認知症の人をケアする上で一番の問題とも言えるのは、BPSD、せん妄等であろう。しかし、それは認知症の人にとっての問題ではなく、周囲にとって大きな問題であるのかもしれない。ケアのレベルアップによって、これらの問題はどうか変わっていくのかを考えよう。 (演習) 参加者各自がBPSD、せん妄の対応の困難事例についてディスカッションを通して考える。</p>
17:30~17:40	10分	休憩
17:40~19:00	80分 講義	<p>「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」 講師 松岡照之 (認知症サポート医・京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学) 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思確認など、患者、家族の視点に立ちサポートすることを考えよう。</p>
19:00~19:10	10分	閉講挨拶・アンケート記入・事務連絡